

脳卒中の再起不能宣告から「ふつうに」再起した 森田孝一郎氏による～脳卒中サバイバーのための～言葉とリズム 【スーパーポジティブリハビリライフ】への取材依頼



1. 主な対象者:

- ・ 脳卒中に罹り前途に不安を抱える方
- ・ それを支えるご家族
- ・ 医療従事者・福祉施設関係者

2. テーマ:「回復を楽しむ心身のあり方」と「希望を与える医療への提言」

3. 経緯と内容:

2016年夏の脳卒中発症時、森田氏は主治医から再起不能宣告を受けました。当時、絶望しかけた森田氏に希望を与え「ふつうに」再起を果たしたのは、主治医とは無関係な友人医師のある“言葉”と“リズム”を活用したりハビリでした。

現代において、脳卒中は日本人の5人に1人がかかるとされており、寝たきりとなる原因の第1位です。

なぜ、寝たきりになってしまうのか？それは、医師から再起不能を宣告されると、それを真に受けて生きる希望(やる気)を失ってしまう方がほとんどだからだと思います。

そこで、森田氏本人の脳卒中再起不能宣告から「ふつうに」再起した過程と今を、ユーモアを交えながらお伝えします。

また氏の専門であるリズムコミュニケーター(リズムの価値の伝道師)として”リズム”を活用したリハビリの魅力、心身や社会にもたらす効果や影響、そして、片麻痺回復過程で有効だった、かつ日常の健康維持に効果が期待できる日々のリズムリハビリワークもご紹介します。

4. リズムコミュニケーターもりぶー(森田孝一郎)

1966年鹿児島市生まれ、ジャズドラマー、リズムワークショップファシリテーター、ドラム&リズム幹(感)コーチなどの音楽活動を通じて、リズムの価値を伝え広めている。

/アメリカ REMO 社認定国際健康リズムファシリテーター/東京商工会議所認定健康経営アドバイザー

/鹿児島県鹿児島市 SDGs 推進パートナー/鹿児島市健康づくりパートナー

/一般社団法人ドラムサークルファシリテーター協会オフィシャルアドバイザー

/一般社団法人メディカルリズム協会顧問/鹿児島ドラム協会顧問

4. 付記:

〈関連書籍〉森田著「脳卒中の楽しみ方」デザインエッグ社

〈リズムコミュニケーションの効果〉

- ・リズムに乗って楽しみながらリズム幹を整えることで、心身に変化を起こし健康になれる。
- ・皆で笑い合い、同調化作用で互いに力を増幅させ、人との人間関係を良好にする。

〈このリリースに関する問い合わせ〉

リズムハート Rhythm Heart 〒890-0008 鹿児島県鹿児島市伊敷1丁目14-8

もりぶーこと森田孝一郎 TEL 090-7440-5547 MAIL info@rizha.jp

ホームページ <https://www.rhythmheart.net>